

平成30年度 第12回全体庁議（2月1日開催）

区分	審議・報告	案件名 (担当部)	(5) 上下水道事業一元化の実施について[農政部]
----	-------	--------------	---------------------------

■ 提案・報告の趣旨

農村部と都市部の上下水道事業一元化の実施について、一元化の枠組みや効果、2020年4月実施に向けた今後の取組等について、2019年2月8日の産業経済委員会に報告するもの。

■ 提案・報告の主な内容(概要)

1 一元化の実施

農村部と都市部の上下水道事業は、これまで行財政上の観点から、一元化を検討していたが、2015年1月に、国から農村上下水道事業の公営企業会計への移行要請があった。

このため、2020年度からの地方公営企業法適用に併せて、農村部・都市部上下水道事業の一元化を実施し、農村上下水道事業の効率化と安定供給の維持を目指すもの。

2 一元化の枠組み及び執行体制

(1)一元化の枠組み

特別会計の簡易水道事業会計、農村下水道事業会計を廃止し、公営企業会計の水道事業会計、下水道事業会計にそれぞれ経営統合を行い、農村部と都市部の上下水道事業を一体的に管理運営していく。

また、収支状況については、事業毎に明確化する。

(2)一元化後の執行体制

簡易水道事業及び農村下水道事業に従事している職員を公営企業へ引き継ぐ。

3 一元化による効果

(1)業務の集約化による効果

① 上下水道手続き等の相談、受付窓口の一本化 ② 技術職員、有資格者の効率的な知識共有・情報伝達

③ 災害時の農政部・上下水道部が連携した防災体制 ④ 人員・資器材の弾力的な運用

(2)法適用化と同時実施による効果

① 職員数増の抑制 ② システム導入費・保守料の削減

4 水道料金・下水道使用料体系

水道料金・下水道使用料は、従来から市内同一に設定しており、一元化後も簡易水道事業及び農村下水道事業の収支状況を明確にし、収支不足が生じた場合は、これまで同様、一般会計から補てんすることにより、市内同一料金・使用料体系を維持する。

5 一元化後の各種手続き等

給水開始届けなど「各種手続き」については、変更なし。

■ 今後のスケジュール

2020年4月からの一元化実施に向け取り組んでいく。

- ・ 2019年2月8日 産業経済委員会へ報告
- ・ 2019年度 条例・規則の改廃、市民周知、料金システムの設定、施設台帳データの統合

■ 審議結果

- ・ 同内容で、2月8日産業経済委員会へ報告することです承された。

■ その他、指摘事項等

- ・ 特になし